

One purpose

FOR BETTER COMMUNICATION



同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY

150

2007
April

特集

ワンパーパス150号記念

アーモストと同志社

●同志社人訪問

毎日放送アナウンサー

八木早希さん
に聞く



CONTENTS

2007 APRIL No.150

『ONE PURPOSE』は学生・卒業生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。
さいなことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見・情報をお寄せください。 記載されている学年は取材時

大学の活動



特集

ワンパーパス150号記念

アーモストと同志社 ----- 2

同志社の研究は今 ----- 9

人の幸福の向上へ、アンチエイジング(抗加齢)医学研究の成果
・アンチエイジングリサーチセンター教授・医学博士 米井 嘉一

CAMPUS NEWS ----- 11

商学部3年次生 太田雄貴さん(フェンシング部)アジア大会「金」、ワールドカップ「銀」の快挙 / 商学部3年次生 小西早哉佳さん 第8回ショパン国際ピアノコンクール in ASIAで金賞受賞 / 特定寄付奨学金募金協力者ご芳名 / 知的システムデザイン研究室(三木教授、廣安准教授)保護者見学会開催 / 生命医科学部棟(仮称)起工式 / 同志社大生のたばこ白書 - 禁煙への取り組み - / 卒業生の新刊図書 / 本学教員執筆図書の紹介 / Present For You / 新任教員紹介 / 退職教員紹介

在学生・教員の活躍

OP COMMENTARY ----- 17

「孤独な時間」とキャンパス・ライフ -自分との対話と他者との対話-
・社会学部社会福祉学科准教授 空閑 浩人

MY PURPOSE ----- 27

公認会計士試験現役合格に全力投球 ~めざすものを見つけて悔いのない大学生生活を~
・佐藤 文子さん(商学部3年次生)

卒業生の活躍



INTERVIEW ~同志社人訪問~ ----- 18

毎日放送アナウンサー
八木 早希さんに聞く

卒業生通信 ----- 21

・正木 彩生さん(1999年神学部卒業)
・早狩 実紀さん(1995年商学部卒業)

MY JOB, MY LIFE ~シリーズ私と「仕事」~ ----- 23

・花立 敦さん(1998年法学部法律学科卒業)
・古田 幸絵さん(1995年商学部卒業)

ANNOUNCEMENT ----- 25



表紙の情景[アーモスト館]

今出川校地にある文化財建築物の一つ。4本の煙突と屋根窓が特徴的なアーモスト館は、2005年6月に国の登録有形文化財に指定された。同志社の学生とアーモスト大学からの学生代表が住む学生寮として竣工された1932年以来、現役の寮として利用されてきた。寮長の岡本恵明さん(工学部機械システム工学科3年次生)は、「アーモスト大学から来られるフェローの方や、DAC(同志社アーモストクラブ)の先輩方との交流は、私にとって貴重な経験となっています。この寮での生活を通じて、同志社のことをより深く知ることができました」と言う。2007年度から大規模な改修工事が始まり、W.M.ヴォーリス設計による美しい姿は数年後によみがえる。

特集

ワンパーパス150号記念

アーモストと同志社

1867年、アメリカ・マサチューセッツ州にある
緑深いキャンパスに、若き日の新島襄が立ったその時、
同志社とアーモスト大学をつなぐ歴史の扉が開かれた。
それ以来、140年に及ぶ長い歳月の中で、
さまざまな交流を通し、両校の絆は深く結ばれている。
アーモスト大学とは、そして、アーモスト大学を原点とする
教育の理想とは一。
今回の特集では、アーモスト大学を通して、
同志社スピリッツのルーツを探る。

森田・まずはじめにリベラル・アーツ・カレッジとはどういうものか、実際に学んでくれた物部先生説明していただけますか。

物部・日本の大学では、たとえば法律なら法学部というように1年次から学部に入るのが一般的ですがリベラル・アーツ・カレッジでは学問分野を初めから規定しません。1・2年次のうちは自分の興味のある科目を勉強し、何をしたいのかが見えてきた3年次くらいの段階でこれを専攻にしようと決め、4年次にその専攻で卒業する。ですから生物学を勉強しながら絵を描いている人がいるなど、いろんな側面から自分のしたいことを探していける。自分が持っている人間としての可能性を100%探求していける、そういう大学です。

森田・アモスト大学は1821年貧しいけれど敬虔な青年を聖職者に育てる教育機関として設立されました。大学院や研究所を設けない学士課程のみの大学としては、全米を代表する大学の1つです。現在、学生数1650人に対して165人の専任教員数ですから、学生10人に対して教員1人。それだけ学生と教員が緊密な関係をつくる環境にあるということですね。橋本さんそのあたり実感されましたか。

橋本・大きな大学だと、著名な先生はいらっしゃいますが、自分の研究に時間を取りたいという方が多いのです。たとえば、週3回授業があったとしても、そのうち1回はその先生が講義をされてあとの2回はティチングアシスタントが代わって講義をするという形になります。けれどもアモス

今出川校地アモスト館1Fホールにある新島のタブレット



アモストタウンの丘から 同志社スピリットの源泉

創立者・新島襄が学び、同志社建学の礎となったアモスト大学。

アメリカ屈指のリベラル・アーツ・カレッジ学部教育主体の大学である同校の教育姿勢は、同志社大学のめざす「良心教育」の理念の中にも息づいています。

130年を超える両校の交流を通して培ってきた国際主義の精神と、アモスト大学を原点とする教育の理想について、

森田雅憲先生(同志社におけるアモスト代表兼、同志社大学商学部教授)と、

「新島スカラー」としてアモスト大学で学んだ

物部ひろみ先生(同志社大学言語文化教育研究センター専任講師)。

「アモスト・同志社フェロー」としてアモスト大学から同志社大学にいられている

橋本茉莉花さん(同志社大学言語文化教育研究センター客員研究員)が語り合いました。

トの場合はすべてその担当の先生が教えてください。ありがとうございます。

物部・私にも今でも忘れられない思い出があります。4年次に卒論を書いたときのことです。日系アメリカ人の文学に興味があり、担当してくださったのがアレクサンダー・トマン先生という非常に高名な方だったのですが、その先生に「この本を使って論文を書きたい」と言いました。すると、先生はこう言われたのです。「あなたを指導するのなら当然私はその本を読むべきだし、参考

資料となる本も読むべきだ」と。そうして研究対象の本だけでなく、参考資料に使いたいと思っていた本まで、私のためだけに読んでくださいました。普通の大学ではこんなことはまず考えられません。

同志社スピリットの源泉

森田・日本ではあまり知られていませんが、全米の総合的な大学ランキングによる

とアモスト大学はハーバード、イェール、タフス、オード、カリフォルニア工科大学、マサチューセッツ工科大学などに続いて第9位にランクインしています。ですから、ラクとして最も高いところにある大学だと言えます。

橋本・アモストからの交換留学で3年次だけハーバードやイェールに行く人がいます。たとえ1年間でもハーバードに行くことは非常に難しいことなのですが、そんな人たちも1年間行つて帰ってくると、みんなや



写真左から:物部ひろみ先生、橋本茉莉花さん、森田雅恵先生

「つまりアーモストがいい」と言います。なぜなら大きな大学は先生とのつながりが希薄で、授業も著名な先生が大きな教室で一方的に講義するだけなのです。その点アーモストは先生と学生が1対1で教えることに、たくさん時間をかけてくださる先生が多かったですね。

物部・アーモスト大学は学生のレベルがとても高く、しかも多彩です。たとえば、数力国語が堪能な人、ニューヨークの最も有名な団体でバレエを踊っていた人、ピアノのコンクールで優勝した人もいました。本当にいろんな分野でレベルの高い人たちが同じ学生として勉強している大学でした。

森田・だからといってアーモストはスタートばかりの大学というわけではありません。2006年の入学式でマークス学長が新生に向けて次のような話をしています。

1973年、ジェラルド・パットというアフリカ系アメリカ人の青年が入学してきました。アーモスト大学は貧困層からも学生を受け入れることをひとつのミッションにしている。彼も貧しい家庭の出身でした。当時学生は、最初にアーモストに来た日に水泳のテストを受けなければなりませんでしたが、ところが彼は水泳ができるような環境で育っていませんでした。その青年は懸命に泳ごうとしましたが、力尽きて、他の新入生が見ている前で溺死しました。

「彼は私たちの無知という水の中に沈んでしまったのだ」とマークス学長は言い、自分たちが当然と思っていることでも、他の人々にとってはそうではないかもしれない

ということに気づくべきだと述べています。いろいろなバックグラウンドを持つ人、つまり文化的・経済的・民族的に異なる学生を受け入れて、その多様性の中から学生同士が学びあうことが大切だと言っているのです。そして、あなた方の持っている「そが、お互いに対する最良の贈り物なのだ」と結んでいます。

ここにアーモスト大学の教育の原点があり、新島が設立したこの同志社大学も、またそうした多様性と自主的な学びをなにより尊重するスピリットを継承しているのです。

Column

”アーモスト”の発音について

Amherstという大学名は、カタカナでは「アマススト」もしくは「アマスト」と書かれることが多い。英語の綴りから自然に発音するとそうなるのだが、これは他府県から京都に来た学生が「烏丸」を「からすまる」と発音するのに似ている。つまり自然に発音すればそうなるのだが、本来はそうではないということだ。同志社では伝統的に「アーモスト」と表記している。故オーティス・ケリー教授は生前、伝統的にAmherstは最初のAにアクセントを置く、と話しておられたという。もし「アマススト」と表記すれば、アクセントは真ん中のeに来てしまう。というわけで、同志社での「アーモスト」という表記は正しいと考えられる。



今出川校地アイモスト館階段

教員と学生との距離が近い大学

森田・学生の可能性をひき出す教育という点ではアイモストは理想の大学だと思います。2001年にノベル経済学賞を受賞したジョセフ・スティグリッツという経済学者はアイモストの卒業生ですが在学中はきわめて優秀で通常のコースでは満足せず、彼のために特別にコースが作られたといわれているほどです。

橋本・今も自分で好きなコースを作ることが出来ます。先生にこういうことを勉強したいと言って自分でコースを作ることができるのです。私も実際そうやってほとんど先生とマンツーマンで勉強しました。

物部・これは大学院では珍しくないかもしれませんが学部レベルではほとんどのことですね。学生というより、ひとりの人間として接してくださる先生が多かったと思います。

橋本・私も先生から授業が終わっても個

人的に聞きに来てほしい。そうでなければ君たちがアイモストにいる意味がない」とよく言われました。

物部・私の友人で大きな大学に行った人があるのですが授業時間外に先生に会いに行ったら「Who are you?」言われたら大笑い。でも普通はそんなものみたいです。

森田・逆にアイモストはそれくらい先生と学生との距離が近い大学であり、学生のケアが優れているということですね。ホームティーなどにもよく呼んでくれますね。

物部・学期末などはキャンパスに近いところに住んでいられる先生がよく自宅のパーティーに招いてくださいました。

橋本・アイモストには「TYPO(タイポ・Take Your Professors Out)」というプログラムがあります。これは先生と学生が一緒に食事をするために、大学がお金を出してくれるというもので、最初は1年次生だけのものだったのですが今は全学年に広がって大変人気のあるプログラムになっています。

森田・アイモスト大学は環境的にもとても恵まれたところにありますね。

物部・丘の上にあるアイモストのキャンパスから下を見下ろすと、林や森が広がっていてバドミントンができるんですよ。秋になると二斉に葉が色を変えて本当にきれいです。ボストンから車で2時間ほどですが、そんなに田舎ではないのですが、自然がすごく美しい。カレッジタウンという感じで近くにマサチューセッツ州立大学やスミスカレッジなどがある。それらの間をシャトルバスが周回しています。町中に行っても、そこにいる人が何となくアカデミックな感じでとても上品で安全なところですね。

橋本・あの人は、学生証を見せれば無料で乗れて各大学へ行けるようになっています。近くにある5つの大学は「コンソーシアム(連合)」を組んでいて単位交換ができるようになっていますから、午前中はアイモスト、午後は別の大学というふうに移動するのきに便利なのになっているのです。

アイモストから学んだこと、学ばへきこと

森田・さてアイモスト大学は新島襄が1870年に卒業した大学です。新島は日本を脱国してからフィリッパアカデミーで学びその後アイモスト大学で学びました。

新島が学んだアイモストの教育は、人間的視野を広げる教育で、たとえば国際交流などさまざまな形で現在の同志社に届いています。同志社とアイモストとの交流も盛んで毎年、橋本さんのように「アイモスト・エリート」を受け入れています。また物部先生のよう隔年で1人、「新島スカラー」を受け入れてもらっています。その間の年は、同志社新島スカラーとして1人送り出していますから、毎年同志社から1名の学生がアイモスト大学に派遣されていることになります。こうした教職員の派遣制度や交換教授の制度のほか、さまざまなイベント交流があります。たとえば、新島が同志社をつくる

PROFILE



まさのり
森田 雅憲

同志社におけるアーモスト代表
(The Representative of Amherst College at Doshisha)

同志社大学商学部教授
専門は理論経済学、経済社会学



ものべ
物部 ひろみ

第17代新島スカラー
(1989年9月～1991年5月)

同志社大学言語文化教育研究センター専任講師
専門はハワイの歴史と文化、
ハワイの日系アメリカ人の歴史



Marika Joyce HASHIMOTO

(橋本 茉莉花)

第46代アーモスト・同志社フェロー(2006年9月～2007年8月)

同志社大学言語文化教育研究センター客員研究員
アーモスト大学卒業
専攻はブラックスタディーズ(黒人文化学)

ときに演説をした、ラトランドのグレイス教会を出発し、歩いてアーモストまで行くという「新島メモリアルウォーク」を、2年前に企画しました。課外活動の交流では、同志社のグリークラブがアーモストで公演をしたリ、2007年6月には逆にアーモストのアカバグループが同志社に来て公演をします。2006年には「アメリカにおけるリベラルアーツ教育とは何か」というテーマでアーモスト大学からも2人の先生を招いてシンポジウムを開催しました。アーモスト大学所蔵の新島関連資料を同志社で特別展示したこともあります。

ところで、物部先生や橋本さんは同志社とアーモストの交流の証しとも言えます。ご自身の経験から同志社大学の学生への提言やご自身の今後の方向性をお話しいただけますか。

物部・アーモストではまず、あなたは何をしたいのか、ということ聞かれます。そうして自分の興味の対象を探しながら単位

を取っていきます。研究とは誰から課題を与えられているものではなく、自分でテーマを探し、疑問を持ち、その原因をリサーチしながら進めていくもの。そういう主体性をもって研究していく姿勢が私にも生まれたのは、何よりアーモスト大学で学んだからです。今は私自身が学んだことを、同志社の学生たちに教えています。私が担当している「イングリッシュ・プラクティウム」という英語の授業ではリーディングをして考え

たことをクラスの中でディスカッションするのが主体で、ほとんど英語で進めていきます。学期の最後には自分で課題を選んでリサーチし発表をして、論文の形で提出してもらいます。

橋本・私のエローの期間は1年間で終わったらアメリカの大学院で勉強したいと思っています。専攻はブラックスタディーズ(黒人文化学)ですが、建築にも興味があるので、その方面の勉強もしたいですね。



秋のアーモスト大学構内

物部・私がいま教えている学生で、これからアーモスト大学に留学したいという人がいれば、どんなことをしても助けてあげたい。それに、橋本さんのようにアーモストからこちらに来られる方がいれば、どんな形でもお手伝いしたいと思っています。

森田・同志社大学が今後、学部教育に力を入れていくうえでひとつのモデルがアーモスト大学にあります。マックス学長が言っているように、多様な個性をもつ者同士がお互いに学び合う機会を、同志社でももっと増やしていきたい。同志社大学では現在アジア、アメリカを中心に世界各地の大学と交流を行っています。がアーモストとの交流を手段として、様々なバックグラウンドを持つ学生たちが集い、交流しながらお互いに学び合い、真の意味での異文化コミュニケーションに目覚めてくれればと願っています。

物部先生、橋本さん、本日はありがとうございました。

日本のアーモスト

文と写真 本井康博(神学部教授)



アーモスト大学のジョンソン・チャペル(1827年竣工)

大学ランキング

「人は見た目が9割」とか。

では、大学は、昔から偏差値ランキングが盛んです。今はさらに進んで、特定の項目や分野別に細かく順位が公表されています。

その点アメリカは先進国です。たいてい総合大学(ユニヴァーシティ部門)と、単科大学(カレッジ部門)の2部門に分けられます。

前者はプリンストンやハーバード、イェールがトップ常連校です。後者はリベラルアーツ部門とも言われ、ウィリアムズとアーモストが毎年激しい1位争いを演じます。

これら5校に共通するのは、私学でキリスト教プロテスタント(主義)という点です。それも長老派系のプリンストンを除けばいずれも会衆派系です。

このうちアーモストはボストン西方の小さなカレッジです。日本では知名度が低いのですが、アメリカでは創立186年の伝統を誇る「超名門校」です。

同窓社の創立者新島襄(1843~1890)は、幸いにもここに留学でき、1870年に卒業しました。日本にまだ大学がなかった時代ですから、大学を正規に出た最初の日本人になりました。

新島は、21歳の時に鎖国令を犯して函館から密出国しました。上海でワイルド・ローヴァー号に拾われ、渡米できました。そしてボストン近郊の高校カレッジそして大学院(神学校でした)で8年間学びます。

アーモストの輝く息子

アーモストは、最初の日本人留学生、新島を今もって、本校の輝く息子」扱いです。典型的な、丘の上の大学」であるこのカレッジのシンボルは丘の頂上に偉容を誇るジョン・シンチャベルです。この堂内正面の壁、右側の、名譽ある場所」には新島の肖像画が今も掛けられています。ちなみに正面左側の肖像画は、卒業生で唯一アメリカ大統領となったC・クリッジです。

広大なキャンパスには、「同志社アパート」や日本庭園の「友志園」もあります。さらにアーモストは同志社大学に「同志社アーモスト館」を寄贈しています。「ロアルスタイルの美麗な洋館で国の登録有形文化財です。

国際交流

アーモストの「輝く息子」、新島が132年前に京都に建てた学校同志社英学校、それが今の同志社大学の始まりです。だからアーモストはいろいろな意味で同志社のモラルです。

たとえば国際主義です。新島は正真正銘の国際人のほりです。同志社は国際交流の面ではパイオニアです。現在、25カ国65大学と協定を結び、相互に留学生の受け入れや派遣などを行っています。その原点はアーモストです。

私学である意味

私立大学という点でもそうです。新島は国家が建てる官立大学の他に「アーモストのよう」に「人民の手によって設立する大学」の必要性を誰よりも認識していました。私学を創り、私学で、自治自立の人民を養成」することが彼の夢でした。

したがって同志社は創立以来、私学ならではの自由主義（リベラリズム）を学園のモットーとしてきました。その結果同志社は現在「リベラルな学園」として広く知られています。

キリスト教主義

新島が私学にこだわったもうひとつの理由は、宗教教育です。彼は神学校を出て、牧師兼宣教師になって帰国しましたから、

キリスト教主義に基づく人間教育を目標としました。国公立学校ではアーモストのような宗教教育が思っように展開できないことを彼は十分に理解しておりました。同志社がプロテスタント、しかも会衆派系のキリスト教学校であるのはアーモストとまったく同様です。

こうして新島はキリスト教をベースにした「徳育」あるいは「心育」を同志社教育の柱のひとつに据えました。「知育」(頭の教育)だけでなく、「知識を運用する品行と精神」を養うこと、つまり「こころの教育」も大切だと考えました。

良心教育

同志社は知識の開発とともに、良心を研ぎ澄ませる「良心教育」を行う学園です。「良心の全身に充滿したる」青年を育成し、「二国の良心」ともいふべき人びとを世に送り出すのが、新島の目標だったからです。

これも、彼がアーモストから学んだことです。リベラルアーツ教育は「普通、学部教育」とか「教養教育」と訳されますが、中身から言えばむしろ精神教育つまり「人格教育」です。専門よりも教養、つまり知識の詰め込みではなく、幅広い領域での人間形成に力点が置かれます。

アーモストのモットーは「世を照らす人になれ」です。まず自分、「自己中」ではなく、優先的に隣人や周辺に光を当てること、それは奉仕や思いやり、と言い換えることもできます。

同志社も同じ立場に立っています。本学は今にいたるまで社会福祉の領域でパイオニアを多数出した学園ですが、現在、本学が障がいを持つ学生へのサポート面で、全国の大学中、1位にランクされているのも決してアーモストと無縁ではありません。

ジョン・シンチャベル正面、右端の「名譽ある場所」に掛けられているのが新島襄の肖像画



アーモストの新島襄肖像画
(A・E・スミス、1901年制作)

人の幸福の向上へ、 アンチエイジング（抗加齢） 医学研究の成果

同志社大学は2005年4月、抗加齢医学の研究講座を持つ「アンチエイジングリサーチセンター」を設立。その研究成果を社会還元することを目的の一つとして、今年1月、老化原因の早期発見・予防をめざす「アンチエイジングドック」を開設した。生命医科学部、スポーツ健康科学部設置を見据えたアンチエイジング研究の意義と展望をアンチエイジングリサーチセンターの米井嘉一教授に伺った。

病的な老化の原因を発見・予防
それがアンチエイジング

アンチエイジング（抗加齢）医学は、不老長寿を求めるものではありません。医学的にいえば、日々の健康増進をはかり、QOL（生活の質）を向上させ、その結果としての健康長寿の達成を目標にしています。

人間は年を経ることによる老化、正常老化に、病的な老化が加わっていくことによって動脈硬化、骨粗しょう症、アルツハイマー病といったさまざまな病態が現れてきます。病的な老化と病気は重なっている部分がありますから、病的な老化を早期に見つけて是正するということが、結果的に病気の因子を摘み取ることに繋がります。けれども、病気の因子を摘み取る「アンチエイジング」ではありません。もっと前の段階で病的老化を食い止める、病的老化の原因を早く発見し、予防する、それがアンチエイジングなのです。

加齢に伴う正常老化を避けることは不可能です。しかし、人間はそこに病的な老化が加わっていきまますから、その部分を早期に見つけて治すことはできます。30歳くらいまでは正常な老化をたどりませんが、30歳を超えてからは正常ではない老化が始まる場合があるのです。

人間の身体はつですが、脳や血管などさまざまな器官で構成されています。脳や神経は正常な老化から外れていないけれども、骨は正常範囲から逸れて、病的な方向に進んでいるということがあるわけです。

30歳くらいはオプティマルヘルス、すなわち理想的な健康状態の人たちが多いのですが、35歳、40歳と年を経るにしたがって外れていく。骨とか血管とか、その外れた箇所を早めに正常に戻していくと、全体のバランスが取れる。大事なのはバランスなのです。

例えば百寿者、すなわち100歳を超えてもなお認知症などの症状もなく自立した健康な生活を送っている人は、きわめてバランスがいい。老化度を見る指標に、骨年齢、筋年齢、血管年齢、神経年齢、ホルモン年齢、いつもものがあります。これらは機能的年齢（生理年齢）といひ、1年ずつ年をとっていく実年齢とは異なります。また、老化の危険因子としてあげられるのが代謝能、免疫能、酸化ストレス、心身ストレス、生活習慣の5項目。これらがバランスよく調和して、弱点が少ない、老化の危険因子が少ないことが、老人内科、老年内科の先生たちによる百寿者の研究成果です。

米井嘉一

【アンチエイジングリサーチセンター教授・医学博士】



ですから正常に戻すために、早めにどこかに体の弱点が生じていないかを見つけて治す。1つの弱点を治すと他の箇所にもいい影響がありますし、逆に弱点を放置しておくと、今度は全体に悪い影響を与えてしまいかねません。早い段階では外れている度合いが少ないですから、発見するのが早ければ早いほど治しやすい。正常な老化と病的な老化の差は年をとると広がる一方です。早期に見つけて治した方が、効果も長く持続します。

新分野「抗加齢医学」に
いち早く取り組む同志社

アンチエイジングという言葉が生まれたのは、1990年代の初めです。私自身がそれを知ったのは1999年で、非常に良い考え方だと思いました。これは美容とか単なる外見的なことだけでは終わらせてはい

体内年齢と酸化ストレス及びメタボリックシンドローム検査 3つの検査でアンチエイジング

まずは体の"実年齢"をチェック!

筋、血管、脳、ホルモン、骨の5項目で検査を行い、その測定結果をもとに評価年齢=体の"実年齢"を割り出します。

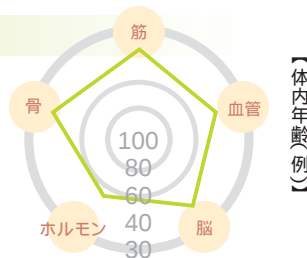
筋...筋肉量、体脂肪量、骨量、水分量、基礎代謝量を測定。

血管...硬さ、柔らかさを測定。

脳...パソコンを使用した対面式検査・問診などを実施。

ホルモン...血液中の各種ホルモン量を測定。

骨...腰椎部分をX線撮影し、その骨密度を測定。



測定結果にもとづき、項目ごとに体内年齢が算出されます。緑色の5角形が外側に広がっているほど理想的な健康状態に近いことを表わします。このグラフではホルモン年齢が高いようです。

つぎに体の"サビ具合"をジャッジ!

体を錆び(酸化)させ、老化やさまざまな症状を引き起こすといわれる酸化ストレスの度合いや抵抗力の有無を5項目の検査によって測定します。

遺伝子損傷...酸化ストレスによって損傷した遺伝子が尿中に排泄された量により酸化ストレス度を測定。

酸化損傷...酸化ストレスによって体がどの程度ダメージを受けているかを測定。

脂溶性抗酸化物質...ビタミンA・E、カロチノイド、コエンザイムQ10などの量により、酸化ストレスに対する抵抗力を測定。

水溶性抗酸化物質...ビタミンC・B12、葉酸などの量により、酸化ストレスに対する抵抗力を測定。

酸化前駆因子...酸化の促進または防止に関わる物質の量を測定。



緑色の5角形が外側に広がっているほど、酸化ストレス度(さびつき)が低く、体の状態は良好です。このグラフの場合、脂溶性抗酸化物質が少ないようです。

最後にあなたの"メタボリック危険度"を判定

生活習慣病の中でも「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)」の危険性を調べる検査を行い、判定します。

生活習慣...問診を元にして、空腹時血糖値、中性脂肪値、コレステロール値を測定し、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を判定します。

脂肪蓄積度...体脂肪率、ウエスト・ヒップ比から判定します。

肥満度...BMI...【体格指数...体重kg÷(身長m×身長m)】で判定します。25以上で肥満と考えられます。

抗肥満因子...血液中のアディポネクチンやレプチンから判定します。

エネルギー消費度...基礎代謝量(カロリー消費量)や筋力率から判定します。



緑色の5角形が外側に広がっているほど、メタボリック危険度が低く、体の状態は良好で、このグラフでは生活習慣や肥満度に注意しなければならぬ状態です。

けない学問として日本に根づかせていきたい、そう考え、抗加齢医学会の立ち上げに尽力しました。そして、大学の中にも抗加齢医学を教える講座が必要だということ、いろいろな大学に協力を呼びかけました。その中で、趣旨を理解していただき、一番早く名乗りを上げてくれたのが同志社大学

だったのです。その結果、2005年4月にアンチエイジングリサーチセンターが誕生。今年1月には関西の大学で初めてアンチエイジングドックが開設されました。アンチエイジングドックは老化原因の早期発見・予防をめざすもので、そこで行うのがアンチエイジング検査です。筋、血管、脳、ホル

モン、骨の5項目で検査を行い、その測定結果をもとに体内年齢を算出します。例えば、筋年齢の測定ではインピーダンス法という微弱な電流を流し、抵抗値の変化から体の筋肉や脂肪、水分の組成量、基礎代謝量を測ります。そして、一般的な日本人の年齢別のデータと照合して、実年齢が30歳だとして

も、実は筋年齢は40歳の平均、というような結果になるわけです。平均であれば良いというわけではなく、理想的なのは実年齢の7割か8割。それをめざすために、検査結果に基づいて、専門医が生活習慣や食生活の改善など、老化予防のためのアドバイスを行います。そして健康増進をはかり、オプティマルヘルスをめざしていくわけです。

抗加齢医学というのは新しい学問であり、非常に範囲が広い。基本は生活療法ですが、運動療法ではスポーツをやっている方々と、食事療法では農学部の人たちや食品・栄養の分野の人たちと、一緒に研究していくこととなります。ストレス対策といえは心理学、哲学の先生方との交流も必要です。私自身、医学部という枠を超えたことで、さまざまな分野の方々と、輪が広がりました。私は机上であまりに狭い範囲に偏った研究をするのではなく、あくまで臨床を基本にし、実際の患者さんたちが何を求めているのか、ということを大切にしたい。2008年度から生命医科学部が新設されますが、自分たちが学んでいる研究成果がどのように生かされるのか、学生たちに考えてほしいと願っています。

厚生館保健センター(今出川校地)では、アンチエイジングドックを実施しています(有料・3コース有)。
●お問い合わせ先
TEL 075-2251113 1000
E-mail ji-hoken@mail.doshisha.ac.jp

CAMPUS

キャンパスニュース

NEWS

学年は取材時

商学部3年次生
太田雄貴さん(フェンシング部)
アジア大会「金」、
ワールドカップ「銀」の快挙



アジア大会男子フルーレ団体メンバーと(右端が太田さん)

2006年12月、カタルの首都ドーハで行われた第15回アジア大会でフェンシング男子フルーレ個人に出場した太田雄貴さん(商学部3年次生)が優勝、金メダルを獲得した。同種目で日本の金メダル獲得は、実に28年ぶり。

また太田さんは今年1月、フランスパリで開催されたワールドカップグランプリ大会でも、男子フルーレ個人で銀メダルを獲得。連続の快挙に、一躍北京五輪への期待が高まってきた。

高校時代、17歳の史上最年少で全日本王者となり、大学1年次生でアテネ五輪に出場した太田さん。アジア大会では準決勝で2005年世界選手権2位の実力者、張亮亮(中国)を激戦の末破り、決勝では準決勝で体力を使い果たした李天雄(韓国)を圧倒した。

フェンシング発祥の地フランスで行われたワールドカップでもアジア大会の好調を維持して予選から順調に勝ち上がり、決勝ではドイツ選手を相手に涙をのんだものの、見事銀メダルに輝いた。

フランスから帰国後、太田さんは次のように語っている。「アジア大会ではベスト8で先輩の日本人選手と対戦して私が勝ちました。その時、自分が日本の代表として結果を残さなければならぬと強く意識したのです。何が何でも優勝したいという気持ちになりました。フランスの大会では予選からの出場だったのですが、とても調子が良く3位で通過できた。目標だったベスト8をクリアして決勝まで進出。フェンシングの本場であるフランスで良い成績を残せたことは、自分の中で自信になりましたし、次に向けての課題も見えてきました」。

この結果、世界ランキングも11位となり、トップ選手の仲間入りを果たした太田さん、今後もますますの活躍が期待される。

第8回シヨバン国際 ピアノコンクール in ASIA 金賞受賞

シヨバンの音楽を通じて国際レベルの演奏家を発掘・育成することを目的とした、第8回シヨバン国際ピアノコンクール in ASIAの大学生部門(1月10日開催)で、小西早哉佳さん(商学部3年次生)が金賞を受賞した。小西さんは同志社香里高校3年の

時に出場した第5回大会の高校生の部で銀賞に輝いており、3年後に念願だった最高峰の賞を射止めた。

地区大会、全国大会を経て本選のステージに立った小西さん。演奏したのは、スケルツォ第2番「エチオピア」の2曲。「弾き終わった直後、審査員の先生方から拍手を頂き、達成感がこみあげてきました」と、喜びの表情で語る。



幼稚園の頃から始めたピアノだが、音楽学校など



寒梅館のランチタイムコンサートにて

どで専門の教育を受けたことは度もない。「音楽学校に進んでライバルとともに切磋琢磨していく環境も良いと思います。しかし、同志社にはさまざまな才能を持った人がいて、明るく活気があります。そんな中で『ピアノが上手な小西さん』という自分であり続けたいと思い、最高の趣味として楽しんでこられたのだと思います」と言う。

「コンクールで全国大会へ進めるようになつたのは中学生の頃から。『聴いてくださった方に、大好きなピアノへの想い、演奏の楽しさや音色の美しさを伝え、魅力ある演奏が

できたら良いなと考えています」。卒業後の進路について尋ねると、「就職してアパレルで楽しく続けるのも素敵だと思っ、これからどのようにアパレルと付き合っていくか模索中」だそうです。

3月16日には福岡のシンフォニーホール4月4日には東京の浜離宮朝日大ホールで受賞者記念コンサートが開催される。また4月18日には大阪いずみホールで、なわ芸術祭のコンサートが予定されている。本学寒梅館のランチタイムコンサートでも演奏することがあるそうなので一度聴いてみたいという方はぜひどうぞ。

特定寄付奨学金募金協力者ご芳名

経済的理由で修学を続けることが困難になっている学生を援助するために、2004年4月から、同志社大学特定寄付奨学金募金」を広く社会各界に呼びかけています。

2007年1月末までに、卒業生、ご父母、一般の方々および教職員から以下のとおりご協力をいただきました。

2006年3月～2007年1月の申込者

	申込件数	申込額
・卒業生 ・ご父母 ・一般	27件	15,480,000円
教職員	54件	4,536,000円
合 計	81件	20,016,000円

「ご芳名敬称略、順不同」

【卒業生・ご父母一般】

10,000,000円 中井幸子

1,000,000円 二村重博

財団法人吉田育英会

900,000円

同志社生活協同組合

600,000円

加藤幹雄

300,000円

同志社校友会

200,000円

早瀬静子

100,000円

森田秀夫

50,000円

寺岡吉徳

40,000円

藤原東

30,000円

長屋勝元

20,000円

浜村光久

10,000円

大槻哲彦

10,000円

山田英彦

10,000円

小林英彦

5,000円

山口啓二

5,000円

松浦悦子

1,115,000円

匿名合計

1,000,000円

匿名5人

1,000,000円

橋本幸

300,000円

三上保孝

150,000円

工藤和男

120,000円

高田紀美

110,000円

山口栄一

100,000円

亀田尚己

100,000円

山形頼洋

60,000円

幸亀一夫

60,000円

高野成之

60,000円

林克樹

50,000円

長澤邦彦

50,000円

植村巧

30,000円

肥田美智子

20,000円

高田芳樹

20,000円

加地伸行

12,000円

内山伊知郎

10,000円

八木匡

10,000円

久保真人

10,000円

吉川健

10,000円

柴田浩

10,000円

北幸史

10,000円

土屋隆生

10,000円

土屋隆生

10,000円

土屋隆生

10,000円

土屋隆生

10,000円

土屋隆生

10,000円

土屋隆生

知的システムデザイン研究室 (三木教授、廣安准教授) 保護者見学会開催

2006年11月25日(土)午後、京田辺校地香知館で、工学部インテリジェント情報工学科知的システムデザイン研究室(三木光範教授、廣安知之准教授)の保護者見学会が開催された。当日は保護者約20名が参加し、研究室に所属する学部4年次生、大学院生合わせて約40名の学生が迎えた。この見学会はOB会と合わせて3年に1回開催されており、在学生の保護者を招待して学生の研究活動を紹介している。研究室を保護者に公開する機会であるとともに、研究発表を通して学生自身が研究への理解を深め、社会における研究価値を見出すことを狙いとしている。

見学会では、三木教授、廣安准教授から研究室の紹介があった他、卒業生進路や国際会議に関する説明もされた。その後研究室へ移動し、学生の案内のもと保護者がそれぞれブースをまわりながら研究活動を見学した。ホールには研究がテーマが展示され、研究の種類によって大きく4つのブースが設けられた。「PCCラタ」では1秒間に1兆回の計算ができる並列計算機を見学し、「知的照明システム」では照度を任意に制御する実験も体験した。また、対話型遺伝的アルゴリズムを用いたシステム構築では、浴衣デザインやチャットボットシステムのシステムを保護者が操作する場面もあった。その他、WEBアプリケーション開発やロボットの行動

規則に関する最適化の研究発表もあった。

ある保護者は、普段子どもが大学で何をしているのが全然見えてこなかったのですが、研究室を見たり学生の色々な発表を聞いたりとどのような勉強をしているのかイメージすることができました。先生方のことも今まで子どもの話を通じてしか知りませんでしたが今日実際にお会いできて良かったです。専門的な内容はわからないにしろ、子どもの大学生活を知る機会になりますし、他の学部でも実施したら良いと思いますね」と話し、各種研究に見入った。



発表した学生は、1ヵ月くらい前から、どういう説明がわかりやすいかグループで考えてきました。研究発表自体は研究室を訪問される企業の方や、研究室でのプレゼンテーションを通して

て慣れているのですが、親の前ではやはり恥ずかしかったです。でも、家で研究の話をしてもあまりわかってもらえないので、今日実際に見てもらったことができて良かったです」と話した。

この後、在学生とOB・OGとの懇親会が開かれ、卒業生と交流を深めた。

生命医科学部棟(仮称)起工式



去る1月31日(水)、京田辺校地R2用地で、2008年4月に開設する生命医科学部棟(仮称)建設の起工式が挙行された。工事概要は、建築面積約4,700㎡、延床面積約18,000㎡、規模は地下1階、地上6階、高さ約29m。工期は2007年2月1日から2008年2月29日まで。

起工式は、大学関係者や施工関係者など約80人が列席した。八田学長は挨拶の中で「本工事による建物が完成する2008年には、生命医科学部およびスポーツ健康科学部の開設を予定しています。京田辺キャンパスは理工系の学問の拠点としてさらなる展開が期待されます」と述べた。

1月末とは思えないほどの陽気のもと、無事に起工式が執り行われ、いよいよ新学部棟建設工事がスタートする。今回の工事は規模の大きさと同時に、医工学・医情報学科、医生命システム学科が入る本体建物に、動物飼育舎・R1施設が入る特殊実験棟の工事を伴う。施設部としては、生命医科学部棟で

行われる最新かつ高度な教育・研究活動に充分応えられる施設・設備工事となるよう、設計管理会社・施工会社などとの連携を密にし、工事を進めていきたいと考えている。

(京田辺校地施設課)

同志社大生のたばこ白書 ―禁煙への取り組み―

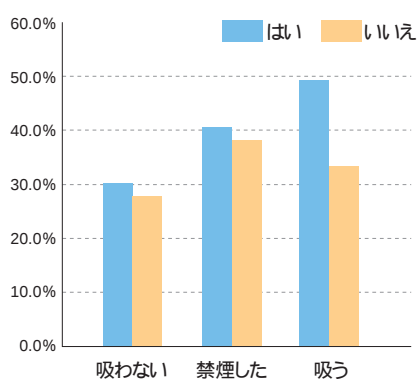
喫煙は、これまで趣味や嗜好、習慣と考えられてきましたが、その本質は「ニコチン依存症」であることが明らかです。世界保健機構でも、「ニコチン依存症が麻薬やアルコールと同様、薬物依存」という病気として認識され、診断基準が示されています。また、喫煙は、病気の原因の中で、予防可能な最大の単一の原因」として位置付けられています。

厚生労働省の実態調査では、習慣的な喫煙が健康に良くないとわかっていてもたばこを止められない人が喫煙者の50%強、喫煙者の40%が未成年時に喫煙が習慣化したと答えており、厚生労働省は、早い時期に吸い始めた人ほど依存症に陥りやすい」と警鐘をならしています。平成18年4月より禁煙治療の保険適用(条件あり)が開始され、受動喫煙を含めたたばこによる健康被害の減少を願った支援体制も整ってきています。

本学では昨年に引き続き、喫煙状況調査を実施しました。喫煙率は2005年

度では全体で15.0%でしたが、2006年度は13.0%とわずかですが減少しました。本年の調査では、「健康増進法について」「喫煙対策に対する意識について」という質問をしました。その結果、「健康増進法を知っていますか」という質問で、知っているか答えた人は、喫煙者で49.2%、禁煙した人で40.8%、吸わない人で31.0%の順で、喫煙者の方が吸わない人より健康増進法を知っていました。(図1)非喫煙者はたばこに対してあまり関心がなく、受動喫煙に対する危険性の知識の無さがうかがわれます。

健康増進法を知っていますか(図1)



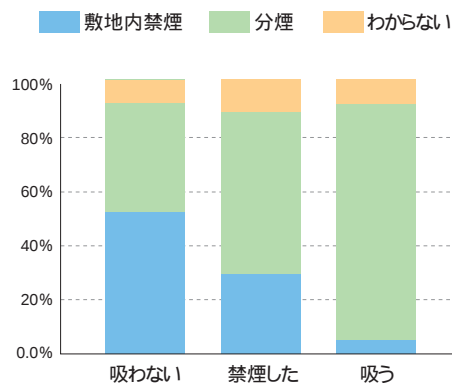
また、「喫煙対策に対する意識について」喫煙者は90%に近い人が分煙を希望し、吸わない人は敷地内禁煙にすべきは52.7%、分煙のままでよいが39.7%でした。禁煙した人は分煙のままでよいが61.4%もありました。敷地内を禁煙にすべきであると考えている人は全学生の45.0%にとどまりました。(図2)敷地内禁煙をめざしている大学としては残念な結果です。

2006年12月から厚生館保健センターで行った禁煙支援ですが、まず禁煙の意志の確認後、ニコチンパッチの処方を出します。大学禁煙化プロジェクトから3枚、大学から3枚を無償で提供、それ以上は私費となります。禁煙できた人が使用した枚数は約6〜7枚でした。ニコチンパッチを使用している禁煙中に起った副作用は、貼付部位の発赤・かゆみ・頭痛、睡眠が浅い、胸がどきどきしたなどでしたが、いずれも軽度でした。禁煙により実感した禁煙の効果で、食べ物の味がよくわかりおいしく感じる、体が軽くなった、小遣いが減らなくなったなどの感想がありました。

非喫煙者による受動喫煙も社会問題となっており、喫煙に対する社会的損失は大きく、社会的に責任ある大学人としての機会にぜひ禁煙を考えてください。厚生館保健センターではいつでも禁煙サポートを行なっています。

(厚生館保健センター)

喫煙対策に対する意識について(図2)



本学教員執筆図書紹介 (総合情報センター調べ) 価格は税別

行政法の基礎(第3版)

佐伯彰洋 他 執筆
法律文化社 2500円

企業社会への社会的接近

藤本昌代 他 執筆
学文社 2500円

中国軍事用語事典

浅野亮 他 執筆
蒼蒼社 4700円

初年次教育

山田礼子 他 執筆
丸善 3600円

外国人参政権問題の国際比較

力久昌幸 他 執筆
昭和堂 3400円

聖書 語りの風景

石川立 越後屋朗 他 執筆
キリスト教新聞社 2600円

身体をめぐるレッスン1

遠藤徹 他 執筆
岩波書店 2700円

会社法における主要論点の評価

早川勝 他 執筆
中央経済社 3600円

卒業生の新刊図書

『I miss you』

遠山耕一 著 1973年文学部卒業
書肆山田 2100円(税込)

バクスターとピューリタニズム

今関恒夫 著
ミネルヴァ書房 4200円

実践 考古学GIS

鋤柄俊夫 津村宏臣 寺村裕史 他 執筆
NTT出版 5400円

法社会学

木下麻奈子 他 執筆
法律文化社 3200円

金融論をつかむ

鹿野嘉昭 他 執筆
有斐閣 2200円

荒ぶる京の絵師曾我蕭白

狩野博幸 著
臨川書店 2500円

商行為法講義

伊藤靖史 他 執筆
成文堂 1800円

第3版 知的財産権事典

井関涼子 他 執筆
丸善 12000円

日韓新たな始まりのための20章

板垣竜太 田中宏 編
岩波書店 1700円

地域福祉と民間非営利センター

上野谷加代子 他 執筆
中央法規 4200円

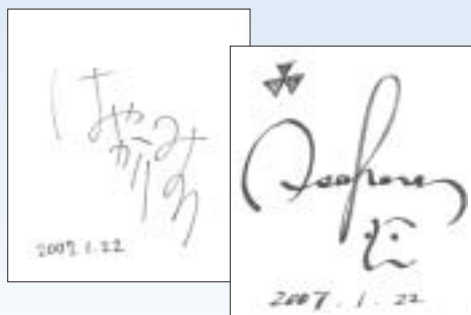
新・アメリカ商事判例研究

川口恭弘 他 執筆
商事法務 3800円

現代社会保障・福祉小事典

アンヌ・ゴーン 井岡勉 渡辺武達 他 執筆
法律文化社 2400円

Present for you



陸上選手 早狩 実紀さん & 朝原 宣治さん
サイン色紙プレゼント

早狩 実紀さん(1995年商卒)、朝原 宣治さん(1995年商卒、現・総合政策科学研究科生)はともに、日本陸上界の第一線で活躍中の選手です。1月に雑誌の取材で、本学に来校された際にサインを頂きました。ご希望の方は、ハガキかE-mailで、住所、氏名、学部(卒業生の方は出身学部と卒業年)、One Purposeの感想をご記入のうえ、2007年5月20日(消印有効)までに広報課にご応募ください(お二人のうち、どちらのサインを希望か必ず明記のこと)。抽選のうえ、それぞれ2人の方にプレゼントします。当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

広報課の連絡先は裏表紙に記載

収集した個人情報は、色紙送付ならびにアンケート内容の分析のみに使用します。

このたび新たに54人の先生方をお迎えしました。 所属(学科) 職名 主な担当教科
生命医科学部は2008年度より開設。



松原 久利
(まつばら ひさとし)
法(法律)
教授
刑法総論



建林 正彦
(たてばやし まさひこ)
法(政治)
教授
政治経済学



坂井 智明
(さかい ともあき)
社会(産業関係)
講師
スポーツ科学概論



宇治郷 毅
(うじごう つよし)
社会(教育文化)
教授
図書館・情報学概論



杉若 弘子
(すぎわか ひろこ)
文(心理)
教授
パーソナリティ心理学
(1)(2)



村山 盛葦
(むらやま もりよし)
神
助教
聖書学4



佐竹 光彦
(さたけ みつひろ)
経済
教授
計量経済学



長谷川 一年
(はせがわ かずとし)
法(政治)
助教
政治思想入門



船津 浩司
(ふなつ こうじ)
法(法律)
助教
会社法1・2



尾形 健
(おがた たけし)
法(法律)
准教授
人権保障の原理



神谷 遊
(かみたに ゆう)
法(法律)
教授
日常生活と民法



州見 光男
(しゅうみ みつお)
法(法律)
教授
犯罪捜査法



岡部 孝好
(おかべ たかよし)
商
特別客員教授
情報会計



今西 宏次
(いまにし こうじ)
商
教授
コーポレートガバナンス論



稲見 亨
(いなみ とおる)
商
教授
国際会計制度論



山森 亮
(やまもり とおる)
経済
准教授
社会政策



宮澤 和俊
(みやざわ かずとし)
経済
准教授
日本経済



橘木 俊詔
(たちばなき としあき)
経済
教授
日本経済



長沼 健
(ながぬめ けん)
商
専任講師
電子商取引論



太田原 準
(おおたはら じゅん)
商
准教授
工業経営論



上田 雅弘
(うえだ まさひろ)
商
准教授
産業組織論



田口 聡志
(たぐち さとし)
商
准教授
金融商品会計論



櫻井 貴憲
(さくらい たかのり)
商
准教授
情報会計論



丸茂 俊彦
(まるも としひこ)
商
准教授
信用リスク・マネジメント



長谷川 千春
(はせがわ ちはる)
商
講師
アカデミック・リテラシー1



五百旗頭 真吾
(いおきべ しんご)
商
専任講師
貨幣論



西村 幸子
(にしむら さちこ)
商
専任講師
ホスピタリティ産業論



川満 直樹
(かわみつ なおき)
商
専任講師
商業史



吉町 昭彦
(よしまち あきひこ)
商
専任講師
経済原論



遠藤 敏幸
(えんどう としゆき)
商
専任講師
韓国経済論

新任教員紹介



白瀬 由美香
(しらせ ゆみか)
政策
講師
First Year Experiment



平松 英哉
(ひらまつ ひでや)
政策
講師
First Year Experiment



秋吉 史夫
(あきよし ふみお)
政策
講師
First Year Experiment



足立 光生
(あだち みつお)
政策
准教授
資本市場政策



井口 貢
(いくち みつぐ)
政策
教授
文化政策



藤川 健
(ふじかわ たけし)
商
講師
アカデミック・リテラシー1



高橋 智幸
(たかはし ともゆき)
生命医科学部設置準備室
教授



井原 康夫
(いはら やすお)
生命医科学部設置準備室
教授



仲町 英治
(なかまち えいじ)
生命医科学部設置準備室
教授



伴 貴彦
(ばん たかひこ)
工(物質化学工)
助教
物理化学工学実験



多久和 英樹
(たくわ ひでき)
工(機械システム工)
准教授
フーリエ・ラプラス解析



齋藤 誠慈
(さいとう せいじ)
工(インテリジェント情報工)
教授
線形代数学



戸谷 圭子
(とや けいこ)
ビジネス研究科
准教授
サービスマーケティング



深谷 格
(ふかや いたる)
司法研究科
教授
民法講義 (契約法)



谷口 知弘
(たにぐち ともひろ)
総合政策科学研究科
教授
ビジュアル・コミュニケーションの
理論と技法



宮坂 知宏
(みやさか ともひろ)
生命医科学部設置準備室
助教



舟本 聡
(ふなもと さとる)
生命医科学部設置準備室
准教授



西川 喜代孝
(にしかわ きよたか)
生命医科学部設置準備室
教授



浜中 邦弘
(はまなか くにひろ)
歴史資料館
講師
考古学(1)



Iain DAVEY
(いあん でびー)
言語文化教育研究センター
講師
英語



Ignacio ARISTIMUÑO
(いぐなしお ありすていむによ)
言語文化教育研究センター
准教授
スペイン語



洪 宗郁
(ほん じょううく)
言語文化教育研究センター
専任講師
ハングル



寺西 隆弘
(てらにし たかひろ)
言語文化教育研究センター
専任講師
英語



三原 芳秋
(みはら よしあき)
言語文化教育研究センター
専任講師
英語

2007年3月31日付で
次の先生方が退職されました。

中川 要之助	高久 嶺之介	中村 春次	幅 健志	David Hugh WHITTAKER	北山 修悟	土橋 倫昭	森山 英隆	金 春峰	山口 希	谷川 徹	善本 哲夫	加藤 盛弘	西田 毅	岡本 民夫	井岡 勉	橋本 宰	二村 宏江	
理工学研究科助教授	人文科学研究科教授	言語文化教育研究センター助教	言語文化教育研究センター教授	ビジネス研究科教授	司法研究科助教授	工学部実験実習センター実習講師	工学部実験実習センター実習講師	工学部講師	工学部教授	工学部教授	工学部講師	商学部教授	商学部教授	法学部教授	社会学部教授	社会学部教授	文学部教授	文学部教授

退職教員紹介

「孤独な時間」とキャンパス・ライフ

—自分との対話と他者との対話—

学生時代の思い出は何かと聞かれて、孤独な時間」と言うところ、どんなに「暗い」学生生活を送っていたのかと思われがちだが決してそんなことはない。サークル、コンパや旅行などなど、大いに遊んだもちろん勉強もした？つもりである。しかし、私にとってそのような楽しい思い出と同じくらい大切な思い出の二つに、「孤独な時間」がある。

たしかに悩み多い学生時代ではあった。今から思うとそれほどのことではない。うなことも多々あるが、いつも何かに悩んでいた。大学で友人と談笑したり、遊んだり、コンパの時などは忘れるが一人になるとまた悩み、自己嫌悪に陥る。孤独であった。ある日、本屋に行けば何か答えがあるだろうという単純な思いから、私の本屋通いはじまった。司馬遼太郎、太宰治、谷崎潤一郎、山本周五郎、宮本輝、村上春樹……毎晩深夜まで読み続けた。そこには残念ながら私が求める「答え」はなかった。がしかし、悩むことがそれほど苦しいことでも



ないと思えるようになった。簡単になくならない悩みでも、それとどう向き合い抱え続けるか、その「悩み方」が大切なのではと思うようになった。

さて、大学は「学問」をする場所と言われる。そして学問とは、問いを学ぶと書く。自分の中でこれから抱え続けていく問いをいかに学ぶかということが大切なのである。それは「答えを学ぶ」とことは違う。教師があらかじめ答えを知っていて、それを教えてもらい、ノートに書いて覚えるというのではない。大学での学びで大切なことは多くの授業や日常生活の様々な体験から、自分の中にたくさん問いを刻んで自分なりに本を読んだり、考えたり、また

教員や友人と議論しながら、その問いと向き合い、思索を深めていくとする態度である。と考える。その意味で学問の営みとは一人で取り組むものであると同時に、一人だけではできない営みでもある。

一人である時、その「孤独な時間」を大切にしたいと思う。「孤独な時間」の中で読書や思索は、自分自身と対話する営みでもある。そして、「孤独」は「孤立」とは違う。多くの人との出会いや語らいの時も大切にしたい。この二つは決して矛盾しない。自分と向き合い対話する営みは、自分の周りにいる他者を思う営みへとつながり、他者と対話する営みは、自分自身を思い、振り返る営みへと至る。その両方によって自分自身との関係、そして他者との関係が育まれ、深まる。それはきっと学生生活の豊かさにつながる。学問にしても日々の学生生活にしても、それを豊かに充実したものにするには、自分との対話と他者との対話、その両方の営みが必要である。

「孤独な時間」の中で、私の「悩み」は私

が生きて、テーマ」となった。そうなる時、その「テーマ」は他者である仲間と共有できた。学生時代の大切な財産である。

Kuga Hiroto

空閑 浩人

社会学部社会福祉学科准教授

同志社大学文学部文化学科教育学専攻卒業後、一般企業での勤務を経て、身体障害者福祉施設の職員となる。その後同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻に入学。同大学院博士課程(前期課程)修了、博士課程(後期課程)満期退学後、福岡教育大学教育学部での勤務を経て2004年4月から現職。社会福祉士。



八木早希さんに聞く

インタビュー

和泉智也さん
法学部政治学科3年次生

和泉・八木さんはアメリカで生まれ、韓国でも生活されていたそうですね。

八木・はい。父が商社に勤めていた関係で、ロサンゼルスで生まれました。アメリカで6年間過ごした後、日本にいたん帰国しました。が、今度は小学校4年生から3年間、韓国で暮らしました。高校時代にも1年間、シートルへ留学していました。

和泉・海外生活が長いと、日本に帰ってきてから大変なところもありましたが。

八木・中学生の頃は目立つといじめられるのではないかと心配し、英語を話せないふりをしていたこともありましたが、できるだけ周囲になじもうと気を遣っていました。しかし高校生になると、そのようなこともなくなりました。私は大阪府立住吉高校出身なのですが、住吉高校はアメリカに近い雰囲気と言いますか、校則も制服もなくとても自由な校風でした。個々の違いは個性と捉えられ、のびのびとした学校生活を送ることができました。中学、高校と大阪で過ごし、日本ではずっと阿倍野あたりが生活圏でした。

和泉・その頃、将来何になりたいという目標はあったのですか。

八木・何となく考えていたのは通訳です。言葉をつなぐような職業がいいなと思っていました。漠然とはありますが海外に行きたい、国際的な仕事がしたいという気持ちもありました。

和泉・高校卒業後の進路についてはどのように考えていらっしゃいましたか。

八木・大学のこととはあまり具体的に考えて

いませんでした。高校2年生の秋から3年生の夏休みまで、シートルに留学していたのです。帰国後、さあどこの大学を受験しよう、ということになったのですが、その時にはもう3年生の秋になっていました。そこでいろいろな大学を見学し、同志社大学の今出川キャンパスを見た時、このキャンパスの雰囲気似合う人になりたいと思ったのです。単純な動機ですね笑。でも今感じるの同志社大学はみんなが知っている大学で、認知度が高いというのはやはり有利なことだと思います。

和泉・文学部英文学科を選ばれたのはやはり英語が得意だったからですか。

八木・そうですね。半年間は無我夢中で勉強

八木 早希さん

【2001年文学部英文学科卒業】
毎日放送アナウンサー

アメリカ・ロサンゼルス生まれ。2001年毎日放送入社。英語と韓国語に堪能。2005年10月、2004年3月までレギュラー出演していた夕方の情報番組「ちちんぷいぷい」に復帰。現在、月・金曜日のアシスタントとして出演する他、MBSラジオ「チヨアヨ!韓国」も担当。2006年12月から2年間、韓国観光公社の「韓国観光名誉広報大使」を務める。



強くセンター試験を利用して受験したのですが私は同志社の文学部しか受験しなかった。ここがダメだったら海外の大学へ行こうと考えていました。だから他校を受験しなかったのです。合格して本当にラッキーでしたね。

和泉・どのような大学生活を送られましたか？

八木・海外経験はあったものの日本では阿倍野といくく狭いところでした。道なないので京都へ行くのも初めてでした。道頓堀より北へ行ったことがなかったくらいです(笑)。ですから今まで関東や東北の人と話したこともなく、最初は大学にいるいろんな人が集まっていることにすごく興奮しましたね。勉強面では主に言語学の分野、日本語の言葉や文化のルーツについて学んでいました。私は帰国子女ですから、日本語の語彙が乏しかった。英語を訳す時に日本語が思いつかないのです。だから詩集や日本語の本をたくさん読みましたね。そうすると日本語がすごくきれいな言語だということがわかってきて、その時に通訳ではなくアナウンサーという職業が見えてきたのかもしれない。

和泉・在学生として言いますと、同志社は何をするにも自分で選べてとても自由な大学だと思つたのですが、八木さんはどのように感じておられますか？

八木・確かに何かをやりたいと思った時、自由に取り組むことができますね。私は4年次生になって就職も決まり卒業単位もほとんど修得して、最後の1年間をどのように過ごすかと考えた時、中国語とハンガルの

授業を履修することにしました。自分がやりたいと望めば、それを叶えてくれる環境があったと思います。そういえば、今も続けているゴルフも大学時代に始めたものです。

和泉・在学中、将来のために何かされていたことはありましたか？

八木・大学時代は3つのことを深くというよりも、いろいろなことを経験して、将来の進路を決めたいと考えていました。かなり早い段階でそう意識していたのでアルバイトもたくさん経験しました。イタリア料理店の厨房に入ったり、和食のお店の配膳係をしたり、家庭教師をしたり……。実は朝日放送でも4年間アルバイトをしていたのです。お天気番組などの裏方で簡単な機械を操作する仕事でした。テレビ局の現場を体験し、それがこの職業に就くきっかけにもなりました。

八木早希さんに聞く

毎日放送アナウンサー



和泉・それでアナウンサーになろうと思われたのですか？

今しかないと思い、早めに行動を起こしました。

八木・いろいろなアルバイトをした中で、人と話せる、人と会えるということに楽しさを感じ、やはりアナウンサーがいいなと感じた

和泉・では、毎日放送を志望された動機をお聞かせください。

八木・いろいろなアルバイトをした中で、人と話せる、人と会えるということに楽しさを感じ、やはりアナウンサーがいいなと感じた

八木・正直に言いますと、初めて毎日放送へ来た時、なんてきれいな社屋だろうと感じたのです(笑)。社員も本当に素敵な方が

多く、ここに入ったら私もあんな風に年が重ねられるのではないかと思います。

和泉・実際に入社されてからはどうだったのでしょうか？

八木・最初はアナウンサーとしての壁というよりも、社会人としての壁を感じましたね。どんな仕事に就いても同じことでしょうか？

一生懸命やってもうまくいかない、どうして毎日こんなに怒られるのだらう、と悩むこともしばしばありました。でも自分がやりたかった仕事ですから、単に労働だとは思いませんでした。毎日いろいろな人に出会えて、夢が叶っている実感があった。そして5年くらい経つと、ただ話をするだけではなく、そこから何を引き出そうかという内容を追求するようになりました。苦しくもありますが、それもまた学生時代にはわからなかった喜びですね。

和泉・私は、学生放送局で局長をしていましたが、八木さんは実際にアナウンサーになられてメディアを扱う立場として心がけていらっしゃることは何でしょうか？

八木・私は視聴者のその時々気分を敏感に感じ取るように心がけています。たとえば月曜日と週末では気分が違いますし、晴れの日と雨の日でもやはり全然違ふはです。それをイメージして原稿の言葉を変えたりしています。きれいな日本語を話すことも大事ですが、見ている人、聴いている人がどう感じるかを意識しながら話すことの方が大切だと考えています。大阪人だからでしょうか、空気の中で自分二人が浮いてしまうのが嫌なのです(笑)。



和泉・ところで今日は、ちちんぷいぷいの収録を見学させていただきましたが、具体的に今日のスケジュールを教えてくださいませんか。

八木・朝10時に出演して放送が始まる14時までに全ての準備を済ませなければなりません。私は取材したVTRのナレーションを録ったり、出演コーナーのリハーサルをしています。忙しい時はお昼を食べずに本番に入ることもあります。

和泉・やはり本番では緊張されるのですが

八木・テレビだから緊張するということはないですね。緊張して作り笑いなんてすると、視聴者にもわかってしまいます。私はテレビだけでなくラジオも担当していますが、今はラジオの仕事が気に入っています。ラジオはリスナーは1対1で聞いてくださっている感じが、視聴者との距離がより近くに感じられるのです。ラジオではきちんと言葉で説明できないといけませんし、準備は大変で苦しいものですね。でもそれを毎週きちんとこなしていくのが今のやりがいです。

和泉・言葉をたくさん発していくために勉強されていることはありますか。

八木・たとえば毎月たくさんの雑誌に目を通します。今何が流行しているのかをおさえておく必要があります。今度この表現を番組で使ってみようとか、日々の積み重ねが大事なのです。それこそ大学時代に経験したことも役に立ちます。アナウンサーは生活の全てが仕事につながりますから、不要なものはありません。これから結婚して子どもを産んで、ということになるとしたら、ますます幅が広がるはずです。それもまた楽しみです。

和泉・お話をうかがっていると、アナウンサーというのは生活や人生を楽しめる仕事だと思えてきました。

八木・そうですね。仕事を通じていろんな経験ができるので、本当にやりがいを感じています。アナウンサーという仕事をしていて、強く感じるのは、年齢を重ねると素敵なことなんだな、ということですね。今後は、自分の言葉で話せるアナウンサーになりたいです。

和泉・あらためて、同志社大学にはどのよ

うな思いがありますか。それから最後に、就職活動を行う学生にアドバイスをお願いします。

八木・同志社には感謝しています。いろいろな人と出会い、世界を広げるきっかけくれたところですから。就職活動に関しては、媚びないでほしい。就職はお見合いのような要素もありますから、その会社に合う合わないがあると思います。その会社の空気を感知してください。

和泉・これからもう活躍を楽しみにしています。本日はありがとうございました。

PRESENT

毎日放送「ちちんぷいぷい」のグッズ(八木さんのサイン入り)をいただきました。ご希望の方はハガキかe-mailで、住所、氏名、学部(卒業生の方は出身学部と卒業年)をご記入のうえ、2007年5月20日(消印有効)までにご応募ください(八木さんのサイン入りグッズ希望と必ず明記のこと)。抽選のうえ4名の方にプレゼントします。グッズの種類はお任せください。当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。



広報課の連絡先は裏表紙に記載。収集した個人情報は、グッズ送付ならびにアンケート内容の分析のみに使用します。

INTERVIEWER



和泉 智也さん

法学部政治学科3年次生
学年は取材時

学生放送局の局長として学内放送に携わった。「自分が話すことを多くの人に伝える喜び」を知り、卒業後の進路はマスコミを含め、自分なりに社会貢献できる道を模索中。

言葉で何かを伝えることの大切さを知りました。

今回のインタビューで、初めて生放送中のスタジオに入ることができました。そこは、和やかな空気に包まれながらも、まさにプロフェッショナルが仕事をする“現場”でした。八木さんはアナウンサーとして、自分の言葉で表現することをとても大切にされている方だと感じました。私も学生とはいえ、放送に携わっている一人として、あらためて言葉で何かを伝えることの大切さを知りました。社会の中で貢献する一つの道としてマスコミへの就職を考えている私にとって、このインタビューは得難い経験になりました。

人生には何度かターニングポイントと呼べる時がある。正木彩生さんにとってのそれは大学1年次生のある日、突然やってきた。「おいしい料理を食べさせてくれる」と評判の芦屋にあるジャズクラブ「Left Alone」を家族とともに訪れた。「そこでジャズの演奏を初めて聴いたのです。すごく自由でエネルギーに溢れていて、今までの人生では知り得なかったパワーを感じました」。

1995年、考古学に関心があった正木さ

んは、歴史神学を学ぼうと神学部に入學した。それまでジャズはあつか、音楽にさえそれほど強い興味を持っていたわけではなかった。ピアノについても、小学校に入學するくらいまで近所の教室に通っていたに過ぎない。しかし、その日から正木さんの中でジャズへの思いが急速に膨らんでいく。すぐにジャズクラブに頼み込んでアルバイトとして働



神学部出身の ジャズピアニスト

～演奏している時が生きていると実感する瞬間～

かせてもらったことにした。ミュージシャンの演奏を録音して帰ったり、店のレコードを借りてジャズをむさぼるように聴いた。

そして、たまたまでの練習にも限界を感じ、音楽仲間を探し求めて大学の軽音楽部に入部。仲間とともに音楽を作りあげていく楽しさを知り、ジャズへの傾斜はますます強くなっていく。そして卒業の時期を迎えるが、「まだその頃はプロになろうとは思っていないが、普通に会社員になるだろう」というくらいしか考えていませんでした」と言う。

そこで終わっていたら、単なるジャズ好きの青年でとどまっていたかもしれない。しかし、就職した会社が思わぬ転機をもたらすことになる。正木さんは、イギリスを中心に世界展開しているレコード販売店グループの日本法人へ就職し、横浜店でジャズセクションを担当していた。「店では何千枚もあるCDが好き放題に聴ける。聴いているうちに、自分ならこう演奏したいというアイデアがどんどん出てくるのです。それが溜まってくると、吐き出せないのが苦しくなり、こんなに苦しいのなら自分も音楽の道に挑戦した方がいいと考えるようになっていました」。



Live Jazz & Fine Chinese Cuisine "Left Alone"にて
芦屋市東山町4-13 TEL: 0797-22-0171

関西に戻って1年ほど経った後、数多くの著名アーティストを輩出したアメリカボストンの名門音楽大学「パークリー音楽大学」の奨学金オーディションに合格。渡米してテクニ



さい せい
正木 彩生さん
【1999年神学部卒業】

ジャズピアニスト。
2004年12月パークリー音楽大学卒業。彩生(さいせい)は本名。「祖母が室生犀星からとって名付けてくれた」のだそうだ。正木さんの音楽活動については、HP(<http://www.saijazz.com/>)にライブスケジュールなどの情報が掲載されている。

ックからメンタル面までミュージシャンとしての基礎を学んだ。そして、2004年にパークリー音楽大学を卒業し、翌2005年日本へ帰国。

昨年からは自宅を東京に移し、都内のいくつかのジャズクラブを拠点に、意欲的な演奏活動を展開している。「どうしてジャズピアニストになつたのかと問われると、自分でも不思議な気がします。まさか自分がプロになるとは夢にも思わなかった」という正木さん。プロのミュージシャンをやめようと思ったことはないですが、かと思えば、こんな答えが返ってきた。「そういうこともないわけではないですが、私にとってピアノを弾いている時が、自分が生きていると実感できる瞬間なのです。それを仕事にできるといつとはとても幸せなことだと思います」と笑った。



2006年11月国際千葉駅伝に出場。日本チーム3位入賞。

「おはようございます。」

そういつて現れた早狩実紀さんの体つきを見て、華奢という印象を受けた。164センチの上背に、50キロ足らずの体重。この体でハードルを飛び、水溝を越えて、3000mを走る。

女子3000m障害が初採用された2005年世界選手権で12位という成績を残した。その予選では自身の持つ日本記録を更新し、9分41秒21のアジア記録を樹立。そして昨年の日本選手権を制し、この夏、大阪で開催される第11回世界選手権の日本代表に選ばれた。

現在、京都光華ACに所属、午前中は光華女子学園学園運営部で広報関係の仕事。をこなし、午後は加古川市を拠点に練習。遠征や合宿のない期間は、ほぼ毎日このスイング。10〜20キロの長距離を時間をかけて走ったり、100、200、400メートルの短い距離を繰り返したりと、練習メニュー

一人を二人で考え、走るのもまた自分一人である。「年間の試合予定に沿ってメニューを組み立てるのですが、その日の体調によって今日は何をしようかと考えます。うまくいかない時でも、どのようにコントロールしたら良いか

大学生の頃から自分で考えるのが常でした。結果が良くななくても、全部自分の責任になるので言い訳はできません」と言いつつ笑う。

1987年の全日本中学選手権で800メートルを走り、いきなり優勝。以来20年間、1500、2000、3000、そして3000メートル障害と種目を変えつつ、常に第一人者であり続

女子3000m障害の トップランナー

～この夏、大阪で表彰台をめざす～



2005年8月の世界選手権ヘルシンキ大会で3000m障害に出場。12位と健闘。

顔を合わせ、「二人ともいりも上位にいた。早狩さんに、第一線で長く続けられる理由を聞いてみた。「走ることも、走ることを通して経験できることもおもしろい。世界大会に出ることもそうですが、走っていてこそ経験できたことがたくさんあります。(第線で活躍できなくなる時が来たとしても、走ることだけは続けたいですね)」。

この夏の世界選手権は、前回のヘルシンキ大会と違い、出場することが目標ではない。選考会は通過点でめざすは表彰台。その先には北京オリンピックも見えている。

早狩 実紀さん

【1995年商学部卒業】

学校法人光華女子学園勤務、京都光華AC所属。1972年京都市生まれ。宇治市立横島中学時代から陸上を始めた。

- 1987年 全日本中学選手権 800m 優勝
- 1990年 全国高校総体(インターハイ) 3000m 優勝
- 1991年 全日本学生選手権(インカレ) 1500m 優勝
世界選手権 3000m 出場
- 1996年 日本選手権 800、1500m 優勝
- 2002年 日本記録(2000m 5'53"70) 樹立
- 2005年 世界選手権 3000m障害 12位
アジア記録(3000m障害 9'41"21) 樹立
- 2006年 日本選手権 3000m障害 優勝



早狩実紀さんのサイン色紙をプレゼントします。詳細はp14をご覧ください。

このシリーズは、毎号さまざまな分野で活躍する卒業生を訪ね、仕事に何を求め、仕事を通して何を考えてきたか取材しています。級友の方々にとっては良き近況報告、学生諸君には将来のキャリア・プランと学生生活の現実を考える機会になれば幸いです。

知識や経験を深めつつ、 柔軟な発想で会計検査に臨む



ましたね。
そして4年次生の6月頃、公務員試験と並行して、志望する官庁を訪問しました。私の場合、会計検査院の調査官にお会いした時、その土気の高さや意欲的な仕事ぶりに感銘を受け、会計検査院の仕事に強く興味を持つようになりました。実際に現場に向いて調査し、問題点を分析して改善させる。とてもやりがいのある仕事だと感じました。最初に配属された労働検査課は労働保険を主な検査項目としていますが、当初はその専門知識をほとんど持っておらず、とにかく必死に勉強しました。実

て行いますが、報告をまとめるまでには、相手方との交渉や会計検査院内部での厳しい審議を経なければなりません。自分が手がけてきた案件が決算検査報告、毎年内閣を通じて国会に提出される報告書に掲載された時には、報告をまとめた喜びと同時に、問題点が確実に改善されていく手ごたえを感じます。
専門的な知識や経験は、検査をするうえでプラスになりますが、検査の着眼点は意外と単純なことも多く、柔軟な思考力を維持していくことが大切です。また、組織で働くには協調性も必要。他人の意見を聞き、理解したうえで相手を説得する、というプロセスが重要な意味を持ちます。学生時代から協調性や誠実さなど、内面を磨くことも大切ですね。

もともと公共事業などの行政活動に興味があり、大学に入学する以前から、漠然と公務員になりたいと考えていました。高校の先生の勧めもあり、法学部に進み、大学では佐伯彰洋先生のゼミで行政法を学びました。3年次からは国家公務員を目標に定め、専門学校へ通って試験勉強に取り組みました。ただ、公務員試験の勉強がすべてというわけではなく、経済、地理、スポーツ運動学など幅広く学びました。卒業に必要な単位数をはるかに超えるくらい、さまざまな授業を履修し

地検査に行くようになって間もない頃、制度と実態の乖離を指摘したことがあったのですが、相手方の担当官から、問題があるのはわかった。だが、どうすればいいのか」と聞き直されたことがあります。結局、明確な改善策が見つけれられず、検査報告事案としてまとめることができなかったことは苦い経験でした。
つまり、検査で問題を見つけるだけではだめで、それらの問題点を改善させるまでが会計検査院の仕事なのです。検査は数人で一つのチームにな

P R O F I L E

花立 敦さん

【1998年法学部法律学科卒業】
衆議院法制局第二部第二課
(会計検査院から出向中)

03年から2年間、米国シガン大学とシラキュース大学に留学。現在は衆議院法制局で、衆議院議員の立法活動の補佐に当たる。「今年12月にはまた会計検査院に戻ります。留学と衆議院で得た経験を、今後の検査に生かしていきたい」と語る花立さん。学生時代は陸上サークルで長距離走り、ロードレースや御所の周りを走る24時間耐久駅伝の経験も。忍耐強さと高い向上心を持ちあわせている。



私と「仕事」

仕事と出産・育児を両立しながら、
入社時の希望を追い続ける

私がこの会社を志望したのは、損害保険会社で事故処理の仕事をしたいと思ったからです。大学1年の夏、クラブ活動でラクロスをしていた時にケガをしてしまい、スポーツ保険のお世話になったのですが、その時の東京海上火災保険(当時)の方の対応がとても良かった。親身になって心のケアまで気遣っていただき、「私もこういう仕事がしたい」と心に残っていたのです。

入社後、事故処理を担当したいという思いを抱



きつつも最初に配属された会計から始まり、総務、営業推進など、しばらくは直接的には保険と関わりのない業務が続きました。そしてその後、営業部門に配属となり、今度は保険業務の第1線に立つことになったのです。それまで保険の事務的なことをほとんど経験していませんでしたが、戸惑いもありましたが、今まで直接お客様と向き合うことがなかった私にとって、大変勉強になりました。自動車整備工場などを兼業でされているような小規模の代理店を担当することが多かったのですが、そういったところはお客様を大事にする気持ちがとても強いのです。お客様の信頼を得ていかに最良の選択へ導くか営業の基本姿勢を学ぶことができました。またその間、仕事とは別に私生活の面でも大きな変化がありました。入社2年目に結婚し、昨年3月までの10年間で3人の子

どもを出産しました。出産・育児をしながら仕事を両立させることについてよく、大変ですねと言われるのですが、私はそれほど肩に力を入れてやっていたわけでもありません。弊社では出産育児休暇の制度が整っており、産前6週間と産後8週間の出産休暇・子どもが1歳になるまで休職できる育児休暇を取ることができます。また、現在は9時～16時までの短時間勤務で働いているのですが、子どもが小学校3年生になるまでは最

P R O F I L E

古田 幸絵さん

【1995年商学部卒業】
東京海上日動火災保険株式会社
滋賀支店 大津支社



「1年次生でケガのためにラクロスをやめ、後はアルバイトやゼミなどごく普通の学生生活でした。もっと何かに打ち込んでおけば良かったなと、今になって思います」という古田さん。今は個人代理店の研修生を教育指導する仕事を担当。正直つらい時もある、と言いつつも、「仕事を続けているのは、やっぱり会社が好きなのだと思います」と笑う。

短で10時～15時までに短縮できる制度もあります。もちろん職場の人たちの理解と協力が不可欠ですので、周囲の理解や制度を利用できる雰囲気があったことに感謝しています。

私の場合、夫が協力的だったり親が近くに住んでいたりと、環境的に恵まれていたこともあり、ですが、仕事と出産・育児を両立するには、24時間という限られた時間の中でどこに重点を置くかを意識することが大切だと思っています。これはどうしても押さえておきたいという仕事がある時にはある程度家庭を犠牲にしなければなりませんし、これは子どもたちのためにしっかりやらないといけないという時は家庭を重視します。そうやって自分の中で強弱をつけるように意識しています。

今も事故処理部門の希望を出し続けています。損害保険会社への入社をめざした時の原点に戻り、いつかは自分の夢に挑戦したいと思っています。

C E M E N T

- 4月24日(火) 16:45 ~ 『道』(104分)
18:40 ~ 『ベニスに死す』(130分)

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 Tel:075-251-3270
内容は変更となる場合があります。5月は本学教員によるおすすめ映画特集を予定。

Hardience (ハーディー友の会) メンバー募集中!

同志社大学今出川校地学生支援課では、寒梅館のイベントをきっかけとして本学および本学学生の活動に関心を持っていただくために、共に催しを盛り上げていただける方を募集しています。お申し込みは今出川校地学生支援課窓口で随時受付中です。

【対象】一般・他学生(本学学生・教職員は対象外) 【会費】無料
【特典】寒梅館イベント情報の郵送、案内メール配信、映画招待券やコンサート入場券のプレゼント・入場料割引、学生団体による公演・お芝居等へのご招待、寒梅館レストランでの割引etc.

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 Tel:075-251-3270



CLAP うたとお芝居のワークショップ

宮澤賢治の「どんぐりと山猫」を歌とお芝居で演じるワークショップ。
同志社大学の合唱サークル「コール・フリーゲル」と一緒に練習し、
7月8日(日)に寒梅館ハーディーホールで公演を行います。
上演作品:「どんぐりと山猫」 原作:宮澤賢治 作曲:萩京子
公演日:2007年7月8日(日)

募集対象:

合唱と演劇どちらにも関心を持って取り組める方。
7/8(日)の公演に出演でき、7/6・7の直前練習にも参加できる方。
小学生~50歳くらいまで。(合唱・演劇の経験は不問。)
小学生は保護者と一緒に参加してください。練習は立ったり動いたりしながら行います。体力に不安のある方はご相談ください。

募集人数:25名

講師:二口大学(演出・演技指導)

伊東恵司(指揮・合唱指導) 川上明子(舞台監督・舞台美術)

参加費:中学生~大学生3,000円 一般・本学教職員10,000円
小学生1,000円

上記参加費の他、チケット負担(中学~大学生3,000円、一般・本学教職員5,000円)を予定

申込方法

参加申込書(学生支援課窓口)に有り)に記入のうえ、両校地いずれかの学生支援課へ。

申込期間:3月20日(火)~4月20日(金)

練習スケジュールなどの詳細は、参加申込書に記載しています。

観に行こう聴きに行こう~学生団体4~5月の活動予定~

京田辺校地ではオリエンテーション期間の4/2~4/7、今出川校地では4/3~4/5に、クラブ・サークル活動紹介・入部受付を行っています。新入学生歓迎イベントも続々と開催します!

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 Tel:0774-65-7410
今出川校地学生支援課 Tel:075-251-3270

京田辺校地 ハローホール(多目的ホール)

4月9日(月) Soul 2 Soul「新歓ダンスステージ」 12:30~
4月10日(火) 同志社交響楽団「新入生歓迎コンサート」 12:30~
4月11日(水) 邦楽部「新歓演奏会」 時間未定

4月13日(金) The Amplugged「新歓ライブ」 16:30~
4月16日(月) neuf「ファッションショー」 時間未定
4月19日(木) F.B.I.「新歓上映会」 時間未定
4月20日(金) F.B.I.「新歓上映会」 時間未定
4月21日(土) F・A・C「新歓ライブ」 13:00~
4月23日(月) 喜劇研究会「新歓ライブ」 13:30~

今出川校地 寒梅館ハーディーホール・クローバーホール

4月22日(日) 能楽部狂言会「卯月会」 時間未定
5月3日(木) ギタークラブ「立教大学とのジョイントコンサート」 時間未定
5月5日(土) ギタークラブ「コンセール・コラボレーション」 時間未定
5月14日(月) マンドリンクラブ「新歓コンサート」 時間未定

マンドリンクラブ 第150回記念定期演奏会

【日時】5月27日(日) 13:30~16:00

【場所】京都コンサートホール 大ホール

【お問い合わせ先】075-251-4848

学生保健部会 献血

今出川校地

【日時】4月20日(金) 10:00~15:45(休憩11:15~12:15)

【場所】今出川校地 明徳館ラウンジ前

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 Tel:075-251-3281

京田辺校地

【日時】4月18日(水) 10:15~15:30(休憩11:15~12:15)

【場所】ラーネッド記念図書館裏

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 Tel:0774-65-7435



同志社ローム記念館プロジェクトメンバー募集中!

2007年度のプロジェクト参加メンバーを募集します。映像やWEBなどのデジタルコンテンツを題材としたテーマで、約1年間のプロジェクトに取り組んでみませんか。

《誘致プロジェクト》

・Webとケータイによる京都観光コースガイド(参加企業:NEC)

・京田辺市PRメディア制作プロジェクト(参加団体:京田辺市役所)

・実用情報をのせた3Dアニメプロジェクト

(参加企業:ダイキン工業株式会社)

・講義支援用WEBシステム(古典・英語編)(参加企業:かぶせる工房)

・BR-モバイルカレッジ(参加企業:ビジネスリアート株式会社)

・サーバ100%活用プロジェクト(参加企業:カゴヤ・ジャパン株式会社)

・みなメールプロジェクト

(参加企業:マイクロソフト株式会社・日本油脂株式会社)

・Playful Intelligence(参加企業:株式会社CSKホールディングス)

《公募プロジェクト》

同志社広告機構(DC)

同志社大学レスキューロボットプロジェクト

各プロジェクトの詳細、メンバー申込票のダウンロードは、ローム記念館ホームページ(<http://rohmdrm.doshisha.ac.jp/>)をご覧ください。

【お問い合わせ先】京田辺校地総務課(ローム記念館事務室)

Tel:0774-65-7800 E-mail:jt-rohmd@mail.doshisha.ac.jp

新入学生対象

フレッシュヤーズキャンプ2007参加者募集!

同級生、上級生&教職員スタッフと触れ合う1泊2日。新入生の皆さんが有意義な大学生活を送るきっかけとして、また学部を越えた友人を作るチャンスとして、ふるってご参加ください!

【日程】4月14日(土)~15日(日) 4月21日(土)~22日(日)

【定員】各回80人(学部新入生対象) 【参加費】5700円

【場所】同志社びわこリトリートセンター

【お申し込み】4月2日(月)~10日(火) 4月2日(月)~17日(火)
先着順受付

3月に郵送されている申込書に記入のうえ、両校地いずれかの学生支援課へ(定員になり次第、受付終了)。

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 Tel:0774-65-7410

今出川校地学生支援課 Tel:075-251-3270

新入生歓迎特別講演会 片岡篤史氏

本学OBで元プロ野球阪神タイガースの片岡氏から熱いメッセージをいただきます!

【日時】4月17日(火)15:00~

【場所】京田辺校地 ハローホール(多目的ホール)

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 Tel:0774-65-7410

新入生歓迎・筍掘り&焚き火の会

キャンパスに群生する筍と竹で、竹筒ご飯作りに挑戦します。香りかぐわしい筍ご飯を楽しみながら、燃え盛る炎の前で語らえば、初対面でもすぐに打ち解けられます。2年次生以上の参加も歓迎です。

【日時】4月21日(土)13:00~ 【場所】リザーブ2東端集合(申込不要)

【参加費】無料(汚れてもよい服装でご参加ください)

【お問い合わせ先】S-cube(京田辺校地学生支援課・副業館1F)Tel:0774-65-7021

第25回函館キャンプ

創立者新島襄が1864年に脱国した地、北海道・函館で“新島襄の生き方を学び、同志社を見つめ、人と人との出会いやふれあいの中、自己を振り返ろう”という趣旨で行われる5泊6日の合宿プログラムです。

【実施期間】2007年8月13日(月)~18日(土)

【申し込み】2007年4月20日(金)~5月18日(金)に、所定の申込書を記入のうえ、両校地いずれかの学生支援課へ。説明会を開催します。

2007年4月24日(火)17:00~ 今出川校地寒梅館地A会議室

2007年4月26日(木)15:30~ 京田辺校地(会場は未定)

【定員】30名(学部生優先)

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 Tel:075-251-3270



障がい学生支援制度サポートスタッフ大募集!

キャンパスで学ぶ障がい学生(challenged)のサポートスタッフを募集しています。初めての方でもできることはたくさんありますので、ぜひパソコン通訳、ビデオ字幕付けなどのスタッフとして活動してください。各種講習会も開催していますので、興味のある方は学生支援課まで連絡ください。時給:一律870円

<支援活動の内容>

聴覚障害:ノートテイク、パソコン通訳、手話通訳、ビデオ字幕付け、ビデオ文字起こしなど
視覚障害:講義資料、試験問題の点訳、電子データ化、拡大コピー、

対面朗読、代筆、代読、ガイドヘルプなど

肢体不自由:代筆、車椅子介助、トイレ介助、食事介助など

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 Tel:0774-65-7410

今出川校地学生支援課 Tel:075-251-3270



ふらっとbプログラム

ハローホール(多目的ホール)では、コンサートや映画上映など多彩な文化プログラムを開催しています。ふらっと、ハローホールにお立ち寄りください。

【場所】京田辺校地 ハローホール(多目的ホール)

●4月25日(水)新入生歓迎学生企画

新入生歓迎のための学生自身による企画にご期待ください。

イベント詳細は学内の情報掲示板などをご参照ください。

●4月27日(金)12:30~『ムットーニ上映&講演会』

『すばらしきムットーニの世界』~ボックス式のカラクリ・シアター~
「ムットーニ」とは、アーティスト武藤政彦の別名であり、彼が作り出す作品のこと。それは立体のカラクリ箱であり、作品自体の高度な芸術性と、緻密に計算尽くされたストーリー展開、動き・光・音のダイナミズムにより、他には例のない唯一無二の総合芸術作品に仕上がっています。一度でもご覧になれば、その虜になること間違いありません。今回は作品にアーティスト「ムットーニ」が口上を行い上演します。

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 Tel:0774-65-7410

ふらっとプログラムでは、これ以降もたくさんのプログラムをご用意しています。詳しくは学内の情報掲示板をご覧のうえ、ぜひご参加ください。



WOT (ワット) = What's on Thursdays!

「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。

【会場】寒梅館ハーディーホール

【料金】本学学生・教職員はすべて無料(5/17:どなたも無料)

4/19・5/24:一般1300円・他学生1000円

5/10:一般1000円・他学生500円

cinema

●4月19日(木)映画『フラガール』10:30~ / 13:30~ / 18:30~

監督:李相日 出演:松雪泰子、豊川悦司、蒼井優

プロデューサー・李鳳宇さんによるトーク15:45~17:15

●4月26日(木)新作試写会 【要整理券】(詳細未定)

●5月10日(木)映画『ゆるる』15:30~ / 18:30~

監督:西川美和 出演:オダギリジョー、香川照之

●5月17日(木)映画『博士の愛した数式』14:30~ / 18:30~

監督:小泉堯史 出演:寺尾聰、深津絵里【どなたも入場無料】

●5月24日(木)映画『ベルナのしっぽ』13:00~ / 15:50~ / 18:40~

監督:山口晃二 出演:白石美帆、田辺誠一

全盲の漫談家・音福亭MAKAさんによる漫談 14:55~ / 17:45~

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 Tel:075-251-3270

内容は変更となる場合があります。6月も毎週木曜日、映画上映を予定しています。



クローバーシアター

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールで、映画史に残る名作の数々を特集上映します。

【会場】寒梅館クローバーホール(地階) 【入場無料】(DVD/VHS上映) リクエスト名作集

●4月10日(火)16:45~『モダン・タイムス』(87分)

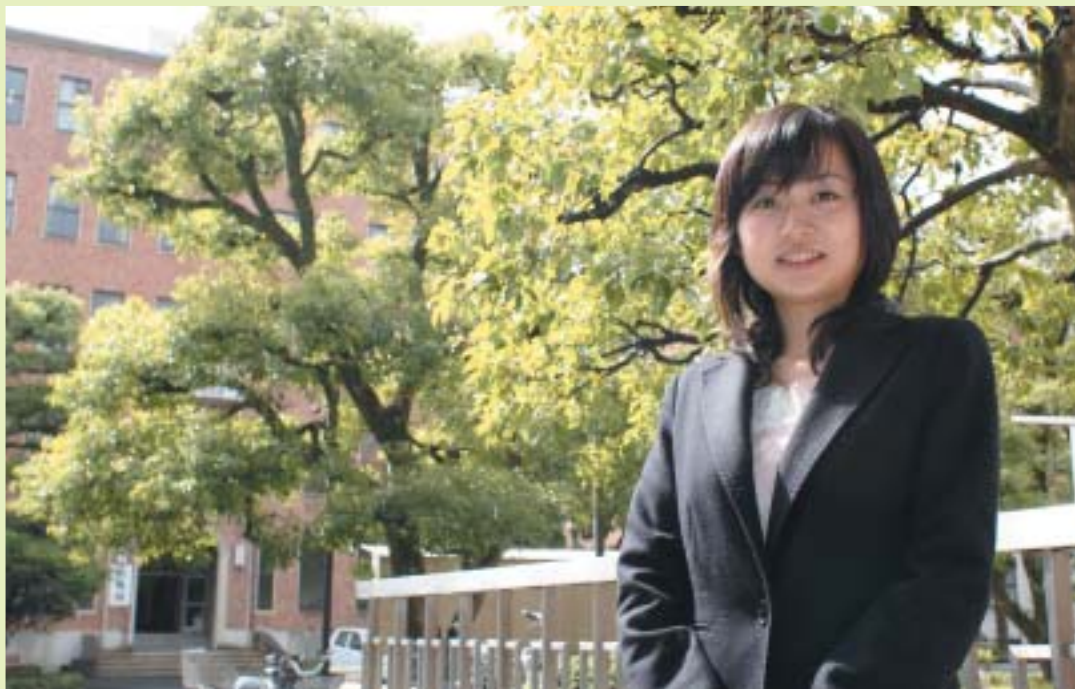
18:30~『鳥』(119分)

●4月17日(火)16:45~『巴里の屋根の下』(87分)

18:30~『シェルブールの雨傘』(91分)

My Purpose

挑戦する人



公認会計士試験現役合格に全力投球

～めざすものを見つけて悔いのない大学生活を～

私が公認会計士をめざしたのは、高校生の終わり頃でした。進路を考えるにあたって資格関係の本を読み、公認会計士に憧れを持ったのです。同志社大学を選んだのも、公認会計士の合格者が多いことが大きな理由の一つでした。

しかし入学してからよく調べてみると、公認会計士の試験はとても難しいことがわかり、1年次生の時に一度挫折してしまっただけです。そこで簿記に重点を移して勉強を始め、2級に合格しました。すると簿記だけでは物足りなくなり、もう一度公認会計士試験に挑戦しようと決意しました。

2年次からは専門学校にも通い始め、住まいを専門学校の近くに移し、1年次生の時に入ったサークル活動などもやめてほとんど専門学校中心の生活になりました。平日でも平均12時間ほどは専門学校で勉強しました。大学の勉強との両立が大変な時もありましたが、商学部の授業内容は公認会計士の試験科目と重複している内容も多かったため、その点では恵まれていたと思います。専門学校では試験のための勉強をして、大学では物事を深く考える力を養うことができました。

現役で合格したかったので友人とのつき合いが犠牲になった面はありますが、自分がめざすものを見つけてそれに専

念できたので悔いはありません。模試の試験が良くなかった時や大学の勉強との板ばさみになった時など苦しい時期もありました。しかし、全力投球の毎日で充実していましたし、有意義な時間を過ごせたと思っています。親や友人にも支えてもらっていたので早く合格して恩返ししたいという思いでがんばりました。

すでに大学卒業に必要な単位はほとんど取得しているので、今は会計士事務所業務に携わりながら、第3次試験のため会計士協会の補習所に通う毎日です。これから実務の世界に入っていくわけですが、試験勉強と実社会は異なるはず。試験勉強で得たことを実務につなげ、会計士としてのしっかりした基盤をつくるのが当面の目標です。ある程度経験を積み、自信が持てるようになっていければ独立したい。いろいろな人の役に立てるよう、これからも努力していきたいです。



佐藤 文子さん

【商学部3年次生】

学年は取材時

Profile